

については、小児は二十名で、成人は八十名です。このように、利用者数だけからみれば、施設利用者の多くが在宅の成人です。新制度となっても、これらの人たちが、現在と同等の福祉サービスを受けられ、将来必要となれば、施設に入所できねばなりません。

以上述べたように、在宅の成人となった重症心身障害児が、現在の重症心身障害児施設と同等の障害福祉サービスを新体制の障害者施設で受けられてこそ真の児者一貫です。これが守られるよう努めねばならないと思っています。

聖隷福祉学会に参加して

島崎 由実子

二月二十一日、聖隷福祉学会がアクトシティにて行われた。三分科会にわかれ、それぞれの施設の発表があった。私達は、「重症心身障害者の食べることと生活の質」というタイトルで、昨年五月より約半年間進めた研究について発表した。内容は、利用者にとって安全で好ましい食形態や摂取方法を見つけていく為、トロミ状態や甘さ、適切な量について検討を重ねたものである。学会に参加し、日々忙しい中で、利用者の心に届くケア

とは何か探求し、小さなことから試みていることが分かった。ある施設は排泄介助や更衣の際に、試行錯誤して作ったマッサージュ用の手袋で、拘縮の強い利用者の背中や手足を一回ずつマッサージュを行っていた。結果、衣服の更衣や

オムツ交換がしやすくなったとの成果があった。また水虫のケアについて発表されたグループは、徹底されていなかったケアをもう一度整理し、施設全体で行ったことで症状が軽減されたというものだった。これは毎日必ず五分から一〇分しっかり時間をとり、適切なケアを行ったことによる成果だと思う。重症心身障害者のケアや関わりにおいても、短期的なものではなく、長目で継続し行うことにより、

見えてくるものが多く、大切なことであると思う。また、むくみのある利用者に短期的だが、フットケアを行ったことで、むくみの軽減はもちろんのこと、精神面でも変化が現れたとの発表もあった。身体の不調は精神面に大きく影響するため、生活の質にも関わってくると思う。当施設の利用者も、自ら痛みや身体の不調を訴えることが難しい方が多い為、いつもと何か様子が違うという感覚を大切にし、

日頃の関わりの中から観察する目を養いたいと思う。

どの施設も、十分に時間にとれない中で、利用者の生活を今より少しでも良いものにしたという思いを、共通に持っていることが感じられた。

最後に印象に残った言葉に、「職員が満足できるケアが利用者の中に届くケアである。」というものがあつた。まだまだ職場経験も浅い私だが、一日の仕事振り返った時に、自分の仕事を誇りに思える、そんな一日一日を送れたらと思う。(あすか? 介護職)

一年を振り返って

野末 承子

聖隷おおぞら療育センターに就職してもうすぐ一年になります。重症心身障害の人達の介護は初めてだった私は、覚えることがたくさんありました。最初の頃は利用者一人一人に対する色々な介助の仕方を「しっかり覚えて確実に安全に行わないと!」という思いが大きかったように思います。食事介助の仕方・生活の中で注意すること・歩行介助の仕方・トイレに行く間隔:最初の頃は持ち歩いているメモ帳に細かく書いて、分からなくなったり不安になったり

するとメモを確認したり先輩職員に聞いたりしました。なかなか一人一人にじっくりと関わって理解していくことや利用者の生活の流れ・リズムをつかむことまで見る心のゆとりがなかったように思います。

就職して四ヶ月目から深夜勤務が始まり、また覚えることが増えました。しかし、この勤務をやり始め、色々な時間帯の利用者を見たり介助の仕方などを覚え始めると、利用者の生活の流れ・リズムも解るようになりました。少しずつ一人一人にじっくりと関わっていけるようにもなり、利用者の様子も見えてきてコミュニケーションがうまく出来てきました。介助の仕方でも最初はおぼつかなかったのですが、先輩職員に丁寧に教えて頂き今はしっかりと安定した介助が出来るようになってきたかなと思います。段々と心にゆとりをもって利用者と接することが出来てきたと今は感じていきます。

障害のこと・色々な症状が出た時の対応:まだまだ覚えることはたくさんあります。これからも色々と教わったり学んだりして、利用者一人一人に合ったケアが出来るようにしたいと思っています。

(はるか介護職)

あさひ棟の庇工事の

完了報告

1 月17日から2月16日にかけて行われた、あさひ棟の庇の増設工事が完了致しました。工事期間中、ご迷惑をお掛け致しましたが、皆様のご協力により無事工事を終える事ができました。

「小さな親切運動」ありがとうございました。

3 月7日土曜日の朝、「小さな親切」運動静岡県本部(代表松浦康男様)の細江支部(担当静岡銀行細江支店)の会員の7名様が施設の窓ガラスの清掃をしてくださいました。

肌寒い早朝にもかかわらず、熱心に作業をしていただき、窓ガラスがとてもきれいになりました。利用者の皆様にとって快適な環境となりました。職員一同、感謝致しております。

また、外来者用車椅子の座面や手すりの張替も2月にしていたいたばかりであり、重ねて感謝申し上げます。